

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にとって、本年が良き年になりますようにお祈りいたします。また、昨年中は多大なるご指導ご協力を賜り、厚く感謝申し上げますとともに、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成30年度も残すところ3ヶ月となり、県の研修事業につきましても、管理者研修会で最後となります。今後も福島県GH協議会では、ご利用者・ご家族の安心した生活の実現などのため、研修事業には特に力を注いでいきたいと思っておりますので、今後とも皆様方のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

第13回実践報告会のご報告



第13回実践報告会は平成30年11月26日、27日にかけて、石川町母畑温泉『八幡屋』に於いて、『グループホームのスペシャリストになる』を大会テーマとし、記念講演、参加型自由討論会、事例発表会、ハピネスフォトコンテスト等、盛大に開催されました。

一日目午前中の記念講演は「みんな、それぞれのスペシャリストに」というタイトルにて、料理家の本田よう一氏よりご講演をいただきました。その中では、スペシャリストとして、常にクライアント(顧客)が何を求めているかをヒヤリングなどで探りながらニーズに合ったものを考え、提供することが重要であるとの事でした。また、次の仕事に取り組んでいくために、今まで行ってきた様々な経験を活かし、どんな局面でも対応できるマルチな人間になる必要があるとの事でした。これは全ての仕事に共通することで、今までの経験などには無駄な事は一つも無く、経験の引き出しを多く持つ事が重要であるとの事でした。

一日目午後の参加型事例討論会では、「グループホームに未来はあるのか！無いのか？」という題にて二会場に分かれて討論会を行ないました。その中では、様々なグループホームがあるが、「できない」が先に出てしまうグループホームは淘汰され、未来はないと言う参加者の声があったり、その為にはどうしていくべきか？という熱い議論がなされ、参加者が一体となって討論がなされていました。

二日目の事例発表では、前半9例、後半4例の発表がありました。様々な発表がありましたが、どの発表も利用者様の思いに対して寄り添ったケアを行っていたり、地域の方々やご家族との絆を深めるための取り組みを行っていたりと工夫されており、参加者の方々も熱心に耳を傾けていました。

今回の実践報告会では担当の県南地区の方々をはじめ、各方部の研修委員や管理者、職員の方々に多大なるご協力を頂き、盛大に取り行う事が出来ました事を御礼申し上げます。

研修会のご案内

平成30年度 管理者研修会

◆ 日時 平成31年2月25日（月）
13:00～16:00（受付：12:30～）

◆ 場所 福島県青少年会館
福島市黒岩字田部屋53番5号



◆ 内容 口腔内衛生について（仮題）
講師：福島県歯科医師会
福島県歯科技工士会

◆ 対象者 どなたでもご参加ください。

◆ 定員 100名

◆ 参加費 会員 無料 非会員 5,000円

※ 詳細につきましては近日中にご連絡致します。是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

事務局より

◆ 管理者・ユニット数など届出事項に変更があった場合には、速やかに事務局まで連絡くださるようお願い致します

会員状況（平成30年9月現在）

◆正会員◆ 189 事業所 / 236 事業所中（加入率80.1%）
◆準会員◆ 団体 2団体 ・ 個人 1名
認知症デイ 6 事業所 ・ 小規模 5 事業所

福島県GH協通信 第48号

平成31年1月9日

編集・発行

〒960-1241 福島市松川町字産子内1-1

福島県認知症グループホーム協議会

事務局

TEL 024-572-7630 FAX 024-572-7631

メール: fukushimaninchi@cyber.ocn.ne.jp